

報道関係各位

千葉市の中学校でソーラーシェアリングの出張授業を実施

2018年12月18日

千葉エコ・エネルギー株式会社

千葉市の小学校でソーラーシェアリングの出張授業を実施

千葉エコ・エネルギー株式会社（代表取締役：馬上丈司、本社：千葉県千葉市）は2012年に設立された千葉大学発ベンチャー企業です。地域への自然エネルギーの普及や持続可能な社会作りを目指し、千葉市内で農業参入を果たした他、全国でソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）に関する総合コンサルティング事業を展開しています。2018年12月6日に、千葉市立蘇我中学校にて一年生320名とその保護者向けにソーラーシェアリングに関する出張授業を行いました。

記

日時：2018年12月6日（木）13:30～14:20

場所：千葉市立蘇我中学校

参加：上記中学校一年生の生徒計320名と、その保護者

内容：持続可能な再生可能エネルギーとして弊社が取り組むソーラーシェアリング

1. 背景

私たちは、「自然エネルギーで地域の未来を拓く」をミッションとして2012年に創業しました。地域の未来のため、そして人が生きていく持続可能な社会づくりを目指して、ソーラーシェアリングの普及に取り組んでいます。

ソーラーシェアリングは、エネルギーと食料を同時につくることができる新しいかたちの農業です。耕作を行う農地の上に屋根のように太陽光パネルを設置することで、発電と耕作で太陽光をシェアします。売電収入が得られるので、作物を収穫できない季節も安定した収入を得ることが実現できます。

これまでの農業は、機械を買うのに大きな費用がかかったり、作物を収穫し収益が出るまでに数年間という痰飲の間がかかったり、様々な困難がありました。ソーラーシェアリングは売電による固定的な収入を得ることができるので、新規就農のハードルを下げることができると考えられます。

現在、農業者人口は減少の一途を辿っています。ソーラーシェアリングという新しい農業のかたちを実現し、広めていくことで、子供達が胸を張って「農家になりたい」といえる社会を作っていきたいと考えています。

農業は、人間が暮らしていくために必要不可欠な産業です。「エネルギー×農業」という新しい農業のありかたを、未来ある子供たちやその保護者の皆様へお話する機会を頂いたのは、弊社にとって非常に意義のあることです。授業をはじめとした様々な取り組みが、農業やエネルギーに対して興味・関心を持つきっかけになって欲しいと考えております。

今回授業の機会を設けてくださった千葉市立蘇我中学校の皆様にご感謝申し上げます。

【こちらで農作業を行なっております】
千葉エコ・エネルギー株式会社 大木戸圃場

2018年4月より、千葉県千葉市緑区大木戸町にて、農業を開始しました。ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）設備の下では、サツマイモや里芋などの栽培を行なっています。



JR外房線 土気駅より車で20分

■会社概要

商号 : 千葉エコ・エネルギー株式会社
代表者 : 代表取締役 馬上 丈司
所在地 : 千葉県千葉市稲毛区弥生町2-15 西千葉浪花ビル3F
事業内容 : 自然エネルギー事業化支援, 自社発電事業, 農業
URL : <https://www.chiba-eco.co.jp/>
TEL : 043-301-6998
Email : contact@chiba-eco.net

■お問い合わせ先

千葉エコ・エネルギー株式会社 萩原 領
TEL : 043-301-6998
Email : contact@chiba-eco.net